

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
 (仮称)株式会社 ティーユーロネット 草津港センター

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境			0.30					3.2
1 音環境		3.0	0.15		-			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40		-			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00		-			
			-		-			
1.2 遮音		3.0	0.40		-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-			
1.3 吸音		3.0	0.20		-			
2 温熱環境		3.0	0.35		-			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50		-			
1 室温設定		3.0	0.38		-			
			-		-			
3 外皮性能		3.0	0.25		-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-			
			-		-			
			-		-			
			-		-			
			-		-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20		-			
2.3 空調方式		3.0	0.30		-			
3 光・視環境		3.3	0.25		-			3.3
3.1 屋光利用		4.2	0.30		-			
1 屋光率	屋光率3.48としている。	5.0	0.60		-			
2 方位別開口			-		-			
3 屋光利用設備		3.0	0.40		-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-			
			-		-			
2 屋光制御		3.0	1.00		-			
3.3 照度		3.0	0.15		-			
1 照度		3.0	1.00		-			
			-		-			
3.4 照明制御		3.0	0.25		-			
4 空気質環境		3.6	0.25		-			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-			
1 化学汚染物質	全面的に化学汚染物質の放散量の少ない材料を採用している。	4.0	1.00		-			
			-		-			
			-		-			
4.2 換気		3.0	0.30		-			
1 換気量	法の1.4倍以上の換気量としている。	5.0	0.33		-			
2 自然換気性能		3.0	0.33		-			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33		-			
			-		-			
4.3 運用管理		3.5	0.20		-			
1 CO ₂ の監視	手動による計測を前提としたシステムとしている。	4.0	0.50		-			
2 喫煙の制御		3.0	0.50		-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.4
1 機能性		3.0	0.40		-			3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60		-			
1 広さ・収納性		3.0	0.33		-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33		-			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.40		-			
1 広さ感・景観		3.0	0.33		-			
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33		-			
3 内装計画		3.0	0.33		-			
1.3 維持管理			-		-			
1 維持管理に配慮した設計			-		-			
2 維持管理用機能の確保			-		-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31		-			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.33		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	20年以上の材料を採用している。	5.0	0.09		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	SUSダクトを採用している。	5.0	0.08		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-			

2.4 信頼性			3.0	0.19		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			4.3	0.29		-	4.3
3.1 空間のゆとり			3.4	0.31		-	
1	階高のゆとり		3.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.115としている。	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり		1F:15000N/m ² ,2F:8000N/m ² としている。	5.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性			4.6	0.38		-	
1	空調配管の更新性	構造、仕上に干渉せずに更新を行える様設置。	4.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性	同上	5.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性	同上	5.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性	同上	5.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性	同上	5.0	0.22		-	
6	バックアップスペース	バックアップスペースを確保している。	4.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40		-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40		-	4.1
1 建物の熱負荷抑制				-		-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29		-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		高効率照明の採用。 ERR=34.1	5.0	0.43		-	5.0
4 効率的運用			4.0	0.29		-	4.0
4.1	モニタリング	各エネルギーの消費量をモニターできる様配慮している。	4.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制	目標を設定している。	4.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.5
1 水資源保護			3.4	0.15		-	3.4
1.1	節水	節水コマ、節水器具の採用。	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
2	雑排水再利システム導入の有無		3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.63		-	3.6
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	宅内舗装エリア(再生骨材の路盤材)、階段滑り止め	4.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	構造、仕上等容易に分別可能としている。	5.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22		-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68		-	
1	消火剤	ハロン消火剤の不採用。	4.0	0.33		-	
2	断熱材	ノンフロン断熱材の採用。	5.0	0.33		-	
3	冷媒		3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.4
1 地球温暖化への配慮		CEC/L値=0.6	4.0	0.33		-	4.0
2 地域環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の使用無し。	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	敷地内にて待機、駐車を行える様にしている。	4.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	分別収集出来る様配慮している。	4.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	開口部がほとんどないため、外部へ漏れる光が少ない。	4.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	